

平成30年度学校経営方針

帯広市立広陽小学校
校長 大島 健

「人が育つ、感動と夢あふれる学校づくり」

～学びたい・働きたい・通わせたい学校～

I 教育理念

「学校は、人が育つところ」です。広陽小学校を子どもたち一人一人が昨日より今日、今日より明日と、よりよく成長を遂げる場にしていきたいと考えます。

また、学校は、子どもたちにとって「今日は楽しかった。明日も頑張ろう！」と毎日思える、楽しく安全な場所であってはなりません。その「楽しさ」は単に「おもしろい、楽（らく）」な「楽しさ」ではなく、「学び、理解し、できるようになる楽しさ」「難しいことに挑戦してやり遂げる楽しさ」「仲間と力を合わせ、心がつながる楽しさ」など、生きる力につながる楽しさでなくてはなりません。

広陽小学校に学ぶ子どもたちが皆、**学ぶことや運動することが好きで、自分と仲間を大切に思い、何事も最後までやり抜ける人**として育っていくことを願います。

そのために、「教育は未来を創る営みである」ことを深く自覚し、一人一人を大切にしたい指導を全教職員が「**チーム広陽**」として進め、「子どもにとって学びたい学校」、「教職員にとって働きたい学校」、「保護者・地域にとって通わせたい学校」づくりを進めていきます。

II 学校教育目標（めざす子ども像）

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. <u>ねばり強い子ども</u> | <自主性に富み、自分に負けない根気強い子どもを育成する> |
| 2. <u>考える子ども</u> | <学力が身につく、創造性豊かな子どもを育成する> |
| 3. <u>たすけあう子ども</u> | <責任や連帯感を重んじて、協調性のある子どもを育成する> |
| 4. <u>思いやりのある子ども</u> | <情操豊かで心優しい子どもを育成する> |
| 5. <u>たくましい子ども</u> | <健康で安全な生活のできる子どもを育成する> |

<年度の重点教育目標（めざす子どもの姿）>

心と声と目線をそろえ、よく考え、よく動く広陽っ子！

～整える(くつ・言葉・姿勢)・交わす(あいさつ)・みがく(聴く態度)～

(イメージする具体的な姿)

- <心> (言語環境、姿勢、くつ)を整える → 先を見通し、時間を大切に使える子
- <声> 自分からあいさつができ、しっかり返事ができる → 朗らかで意欲的な子
- <目線> 話し手を見て、最後まで話が聞ける → 考える力と優しさを纏った子

Ⅲ めざす学校像

・・・信頼に値する学校 ～地域とともに「広陽愛」を育む学校～

- 子ども一人一人の個性を伸ばし、基礎基本を徹底する学校 → <子どもの夢が育つ学校>
- 地域に根ざした創造性豊かな特色ある学校
→ <教師の夢が生きる学校>
- 責任感や使命感に立ち、チーム広陽の取組により信頼される学校
→ <保護者・地域の夢が叶う学校>



学びたい

働きたい

通わせたい

～学校力の向上（組織力強化）～

1. 学力・体力運動能力の向上（全国平均の力をもたせる）
2. いじめゼロに向けた心の教育の充実
3. 特別支援教育への更なる理解
4. カリキュラムマネジメントの確立

Ⅳ めざす教師像（使命感に燃える教師）

- ◆児童理解に努め、一人ひとりを大切にする教師
- ◆研修に励み、わかる授業の創造に努める教師
- ◆豊かな発想で、新たな創造に喜びをもつ教師
- ◆仕事に責任をもち、協力し合う教師

- ① 子どものために教師の力量を高め、もっている力を惜しみなく出そう
- ② 子どもたちの良さや可能性を伸ばす目をもとう
- ③ 子どもの姿に着目し、子どもの声（つぶやき）に耳を傾けよう
- ④ 子どもの力を認め、さらに引き出し伸ばす教育技術を身につけよう
- ⑤ 子どもたちと共に歩む姿勢で指導にあたり、揺るぎない信頼を築こう

Ⅴ 学校経営の基調

（経営の基調）

「子どもの姿そのもの」が教育の成果であり

「子どもの言葉そのもの」が学校への評価である



VI 学校経営の基本方針

1. 学校全体で**スピード感のある危機管理**に努める
2. **学校改善サイクルの実質化**を図り、内外に開かれた強い学校を目指す
3. **確かな根拠に基づいた説明責任**の充実を図り、保護者・地域と子どもの指導にかかわる情報共有を充実させる
4. 公教育に携わる組織体、公務員として、**法令遵守の徹底**に努める
5. 中期・短期の視点にたった校内研究・研修を精選し、実践的な演習等の実施により**確実に指導力の向上を図る**
6. 学習指導要領に基づく教育課程の展開、指導と評価の一体化に努めるとともに、児童に多様性を実感させ主体性を育てる。**特別な教科「道徳」や外国語への対応を積極的に推進する。**
7. 学年ごとの**到達目標の設定**、個に応じたきめ細かな指導、学習環境の適切な整備により、**学力の向上に努める**
8. **命や思いやりの心の大切さ**などについて、あらゆる機会をチャンスとして捉え指導する
9. 教育相談の機能を生かし児童理解に努めるとともに、**いじめや不登校の防止を図る**
10. **横断的な教育課程の工夫**により、健康・安全教育の充実と体力の向上に努める

VII 学校経営の重点

<重点1> 確かな学力の育成

「子どもたちに全国平均の学力を！」

- 各教科における到達目標の設定と、ねらい踏まえた指導の徹底
- 学習規律・生活規律の統一と徹底
- 学校力向上や指導方法工夫改善における加配措置の活用による個に応じた指導の充実
- 学校全体で取り組む家庭学習の推進

<重点2> 豊かな心の育成

「子どもたちに命を大切に作る心を！」

- 学校全体で積極的な生徒指導を推進できる体制の確立
- 教科「道徳」の授業の積極的な公開
- 「キャリア教育」「情報モラル教育」「奉仕活動」「環境教育」本校らしい展開。
- いじめ未然防止に向けた多様な取組や検証。

<重点3> 健やかな体の育成

「子どもたちに健康と体力を！」

- 家庭と接続した、基本的な生活習慣の確立（生活リズムシートの日常化）
- 体育科授業の工夫改善
- 家庭と地域と連携した日常体育の推進
- 教育課程上の工夫や地域・保護者との協働を意識した交通安全教育、防犯教室、防犯訓練、体力向上、食に関する指導の充実

<重点4> 公教育の責務を果たす

「子どもたちの未来保障を！」

- 学校評価の充実による学校改善
- 地域に開かれた学校づくりの推進
- 積極的な情報発信と情報共有
- 学校全体で推進する特別支援教育の充実。
- 幼保小中連携（エリア）活動の充実
- 服務規律の保持徹底



Ⅶ 教育活動推進の重点

1. 魅力ある学校づくり

■生徒・保護者・地域にとって安心感・信頼感のある学校づくりに努める

- (1)情報の共有化をめざす開かれた学校と目的を明確にした開かれた教育課程の創造
- (2)学校のニーズに応えてくれる学校支援ボランティアの積極活用と連携
- (3)地域や家庭と連携した学校力向上（そろえる広陽）への挑戦

2. 教育課程

■学習指導要領の趣旨を踏まえ、学習者中心の教育課程の編成・実施に努める

- (1)新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成・実施・評価・改善への準備
- (2)児童の状況を把握し、学校・地域の実態を生かす工夫
- (3)各教科・各領域ごとの関連や目標及び位置づけを明確にした管理と運営

3. 学習指導

■個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、確かな学力の育成に努める

- (1)個に応じたきめ細かな指導による基礎基本の確実な習得
- (2)学ぶ喜びを実感できる指導方法の工夫や授業改善
- (3)放課後や長期休業中を活用した補習などの学力向上に向けた取組
- (4)家庭学習の習慣化と生活リズムの改善を図る指導の充実

4. 道徳教育

■思いやりの心を育て、温かい人間関係を育む道徳教育の充実に努める

- (1)特別な教科「道徳」のねらい及び評価についての共通理解
- (2)特別な教科「道徳」の授業の積極的な公開と実践の交流
- (3)道徳との関連を図った豊かな心を育む教育活動の充実

5. 特別活動

■集団活動を通して、個性を伸ばし、自主的・実践的な態度を育てる

- (1)学級活動の工夫と望ましい人間関係の醸成
- (2)児童会活動の充実と自主的・主体的な態度の育成
- (3)豊かな体験活動を取り入れた学校行事の充実

6. 生徒指導

■児童理解に努めるとともに、児童相互、児童と教師の深い信頼関係を築く

- (1)カウンセリングマインドに基づいた生徒指導の充実
- (2)規範意識の向上とその内面化を図る指導の工夫
- (3)家庭・地域と連携した指導の工夫

7. 健康・安全指導

■健康・安全に関心をもち、進んで実践する態度の育成に努める

- (1)健康安全指導の全体構造に基づいた指導の充実
- (2)危機管理意識の高揚と交通安全指導の徹底
- (3)望ましい食習慣の形成と食に関する指導の充実

8. キャリア教育

■児童一人ひとりが将来や生き方を適切に考えることができる指導に努める

- (1)6年間を見通した指導計画と継続的な指導体制の確立
- (2)自己肯定感を高める効果的な指導の充実
- (3)正しい職業観や勤労観を育む生き方指導の充実

9. 学年・学級経営

■学校教育目標や経営方針を具体化し、経営の充実に努める

- (1)ともに高め合い、ともに助け合う生活集団など、望ましい集団づくりの工夫
- (2)児童一人ひとりのよさを引き出し、伸ばす指導の工夫

10. 校内研修

■指導力の向上を目指し、組織的・計画的な研修を推進する

- (1)1年次目の研究計画や研究内容等の策定と推進
- (2)「一授業一感動」を追究する授業改善
- (3)授業の積極的な公開と日常的な実践交流の促進
- (4)学校教育指導の実施や各種研究会等への積極的参加

11. 特別支援教育

■児童個々の教育的ニーズに応じた支援体制の確立に努める

- (1)情報の共有化を図った校内支援体制の充実(支援⇔通常 支援⇔学校 支援⇔支援)
- (2)外部関係機関等との連携

12. 学校評価

■自己評価と関連つけた外部評価を実施し、学校改善に努める

- (1)学校改善に資する評価項目の設定による学校評価の推進
- (2)参観日や学校だより・HPでの説明等、評価結果の積極的な公開
- (3)学校評議員会への説明と評議員からの助言

13. 事務

■教育効果の維持を重視した事務処理の迅速化と適正化に努める

- (1)事務処理の手順や経路の明確化
- (2)教育予算執行の適正処理と金銭の取扱いの厳正化
- (3)收受・発送文書や諸台帳の点検整備の徹底

14. 教職員の健康管理

■教師自身が積極的に健康管理に努め、教育活動の充実に努める

- (1)自らの体調管理と早めの対処
- (2)ストレスコントロールの徹底

VI 今年度の学校課題

1. 危機意識の共有による 包括的な学校改善 (近隣指定校3年目の取組)
2. 特別な教科「道徳」の授業の積極的な公開
3. 学習指導要領移行期を見据えたカリキュラムマネジメント
4. 切磋琢磨する授業改善の努力による校内研修の深化

